

# 新たな歴史を刻む今治

## 「ふるさとと今治」の魅力を発信

### 「今治みらい発掘プロジェクト12」を実施

来年1月16日に、合併20周年を迎える今治市。この節目を機に、12の地域が一体となり、魅力ある「ふるさと今治」を市内外に発信し、新たな今治の歴史を刻む出発点となるよう、合併20周年記念事業を実施しています。その様々な取り組み内容について、徳永市長にインタビューしました。

記者

本日はお忙しい中ありがとうございます。今治市が合併20周年を迎えますね。記念事業な

りかとうござります。今治市が合併20周年を迎えます。市長、徳永繁樹

市長、徳永繁樹

平成17年1月16日、



▲2024年版「住みたい田舎」ベストランキング全4部門で2年連続1位に

ど、その取り組みについて

色々お伺いしたいと思っております。合併により、バリウオーターやバリクリンなど、機能を集約させた効率の高い施設を多くの市民の皆さんが使えるようになりまし。また、移住先やサイクリストの聖地としても国内外から

12の市町村が一つの家族となり「大今治家」が誕生しました。これは、全国でも3番目に大規模な合併でした。合併によって目指したのは①若者や人口が定着するよ

うな活力あるまちづくり②高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が安心して心豊かに暮らせるまちづくり③多くの人が訪れる魅力あるまちづくりでした。様々な課題もありましたが、合併により、バリウオーターやバリクリンなど、機能を集約させた効率の高い施設を多くの市民の皆さんが使えるようになりまし。また、移住先やサイクリストの聖地としても国内外から

高い評価をいただいている「しまなみ海道」沿線、その品質で世界を魅了する「今治タオル」、造

スなどの製造・備蓄基地が立地する「エネルギーのまち今治」、大山祇神社や村上海賊、村上三島先生や丹下健三先生など優れた歴史や文化、市民に元気を与えてく



▲合併20周年記念事業オープニングイベントの様子

積する「日本最大の海

船・海運・船用工業ファ

れるFC今治など、多くの誇れる地域資源を市民みんなで共有することが可能となりました。

合併20周年を迎えるにあたり、各地域が持つ特色ある豊かな個性を、今治市全体で最大限に生かすにはどうしたらいいのかを考えていきたいと思っております。将来的に人口が10万人を割り込むことも予想される中、どうやって地場産へ

記者

合併20周年記念事業について教えてください。

市長

記念事業のコンセプトは「むすぶ」。キャッチフレーズは「むすんだ絆、つながる未来」。各地域が持つ個性豊かな地域資源・イベント・文化でつな